

令和4年度 大阪府立大冠高等学校 第1回 学校運営協議会（記録）

令和4年6月24日(金)14時
 本校校内（授業見学）
 本校校長室（会議）

次 第

- 1 配付資料の確認 等
 - 1-1 校長挨拶
 - 1-2 学校運営協議会要項の改正及び会長職についての確認（校長より）
 - 1-3 委員および事務局の紹介（自己紹介）
 - 1-4 時程の確認（教頭より）

☆運営協議会委員

☆事務局

	お 名 前	ご 所 属		名 前	役 職
1	西村 孝彦	関西外国語大学 英語国際学部 教授	1	田尻 誠	校長
2	竹原 正和	高槻市立 第十中学校 校長	2	相澤 崇	教頭
3	尾村 麻由美	コーチングラボ Coko Style 代表	3	谷口 雅俊	事務長
4	深串 有里	高槻市民生児童委員	4	倉橋 忠男	首席・総務部長
5	土井原 美智子	大冠高等学校 冠友会 会長	5	東田 満幸	首席
6	吉川 千晶	大冠高等学校 PTA 会長			

2 校内授業見学（14：25～15：15）

	科 目	学年	組	場所	担当者
1	古典 B	3	6	3年6組	代講倉橋
2	英語総合	3	7	3年7組	正木
3	現代文 B	2	3	2年3組	阪口
4	物理基礎	2	4	2年4組	江端
5	公共	1	3	1年3組	大井
6	歴史総合	1	4	1年4組	毛利
7	数学 I	1	1	1年1組	植田

- 3 第1部 報告 進行：教頭
 - 3-1 令和4年度学校経営計画の概要
及びスクールミッション、スクールポリシーの策定について（校長より）
 - 3-2 質疑応答
 - 3-3 広報活動について（東田首席より）→教頭より報告

- 4 第2部 協議 進行：会長
協議委員から学校への提言
 - 4-1 令和4年度学校経営計画
及びスクールミッション、スクールポリシーの策定について

<委員より>

- オンラインでの国際交流を検討するのであれば、時差のないオーストラリアやシンガポールが取り組みやすい。やり始めが大変だが、始めれば、やり続けられる。

4-2 校内授業見学での意見

<委員より>

- 日常が戻ってきている実感がある。対面で学ぶ大切さを感じるとともに、相談や会話が学びを深めているのが分かった。
- 先生らが個性を大事にして、自分らしく教えており、「よく理解できているなあ」など、生徒への声かけの大切さを感じた。
- 数年前から、生徒が落ち着いてきており、静かに集中して聞いている姿や、活気のある様子を見ることができてよかった。
- 特に1年生の反応がよかった。授業への参加態度も良く、授業を行っている先生のやりがいを感じた。
- 観点別評価の実施や、1人1台端末の活用など、授業内容も新しくなっており、端末を使っただけの調べ学習では、グループ（4人）での学習の意義を感じた。また、新しい教育スタイルは教える側が慣れることが大事と感じた。
- 習得した知識をどう使うか、生かすかが大切になってきている。
- 机の上に物が多いのが少し気になった。目の前の情報整理が必要である。

<質疑応答>

- 授業での端末の活用などの教員研修はどのようになっているか。
A：教員間での情報共有など、積極的に活用している先生から少しずつ広がっている。今後は、好事例など、全体での共有につなげていきたい。
- 1年生で実施し始めた観点別評価について、保護者への説明は。
A：教科が主体となって生徒に伝えている。保護者へは、周知が十分でないかもしれない。今後、確認していきたい。
- この4月～6月で、コロナ対応で変わったことは。
A：年明けの第6波から対応が簡素化され、臨時休業措置を行わなくてもよいケースが増え、全体の学びが止まりにくくなった。
6月に実施した体育祭では3年生の保護者のみであるが、観覧いただいた。9月実施予定の文化祭では1、2年生の保護者の入場も可能かなど、前向きに検討していきたい。

5 諸連絡等

- 5-1 第2回の日程 10月中旬～下旬を予定し、今後、日程を調整
- 5-2 その他